

1675年(延宝3)

幕命により

未知の島を

巡検した

長崎の船頭を

紐解く

知られざる長崎の偉人発信プログラム

嶋谷市左衛門 耀ける航跡

長崎市長崎学研究所開所10周年記念事業

SHIMAYA ICHIZAEMON
THE SHIPMASTER

The Shipmaster of the Expedition Voyage to the Ogasawara Islands in 1675



無人嶋大小八十余山之図写(天明5年)(長崎歴史文化博物館収蔵)



接針之法(国立公文書館所蔵)

嶋谷市左衛門小笠原諸島巡検350周年記念パネル展

2025 9/9_{tue} - 10/5_{sun}

会場 | 長崎歴史文化博物館 1階[エントランス]

開館時間 | 8:30~19:00(最終入館18:30) ※会期中、9月16日(火)は休館日

観覧料 | 無料 ※2階常設展示室、3階企画展示室は観覧料が必要です。

主催 | 長崎市(文化観光部長崎学研究所)

監修 | 長崎県立大学地域創造学部教授 松尾 晋一 氏

協力 | 東京都小笠原村、東近江市西堀榮三郎記念探検の殿堂、長崎歴史文化博物館

記念講演会

2025年9月13日(土)

講師 | 松尾 晋一 氏

長崎県立大学
地域創造学部教授

※詳しくは裏面へ

観覧
無料

SHIMAYA ICHIZAEMON THE SHIPMASTER

The Shipmaster of the Expedition Voyage to the Ogasawara Islands in 1675

嶋谷市左衛門 耀ける航跡

知られざる長崎の偉人発信プログラム

長崎市長崎学研究所開所10周年記念事業

寛文10年(1670)に紀州から江戸に向かうみかん船が、太平洋上の無人島(現在の小笠原諸島)に漂着しました。帰還した乗組員たちがこの島について下田奉行所に報告したことで、幕府は八丈島の先に無人島があることを知ります。幕府はこの島を調査することを決め、海外渡航が禁止される以前に異国へ航海の経験があり、遠洋の航海術に長けた長崎の船頭嶋谷市左衛門に巡検の命を下します。

延宝3年(1675)4月5日に下田を出発、八丈島を経由し5月1日に無人島に上陸しました。ここで、巡検隊は35日間にわたって動植物、鉱物などの調査、島の絵図の作成などを行い、さらにここが日本の領土であることを記した標木と小さな祠を建立し書付を残しました。帰還後、この成果は幕府に報告されました。時を経て幕末から明治にかけて、諸外国と小笠原諸島の領有が問題となった際に、延宝年間の巡検記録が根拠となり、1876年(明治9)に小笠原諸島の日本による統治が国際的に認められることとなります。

2025年(令和7)は、小笠原諸島の巡検から350年の節目の年に当たることから、嶋谷市左衛門の功績を紐解き、市民の誇りとして発信するため、本プログラムを実施します。

《展示構成》

はじめに

- ・嶋谷市左衛門とは

唐船造之御船の活躍と嶋谷市左衛門

- ・唐船造之御船の建造と末次平蔵による抜擢
- ・嶋谷家の航海法とその書物
- ・商船の無人島漂着と第一回航海

嶋谷市左衛門と無人島巡検

- ・第二回航海と無人島までの道のり
- ・無人島巡検
- ・嶋谷市左衛門一行が無人島で出会ったものたち
- ・無人島からの帰還と長崎への帰港
- ・唐船造之御船の解船
- ・嶋谷市左衛門の子孫たち

「小笠原諸島」の誕生

- ・小笠原の名称
- ・林子平『三国通覧図説』
- ・幕末から明治にかけての小笠原諸島の領土問題と調査開拓

嶋谷市左衛門の足跡をたずねて

- ・嶋谷市左衛門のゆかりの地(長崎市中心部)
- ・心、動く島。小笠原 世界に誇る感動がある



狩野常信筆「鳥写生図巻」(部分)
東京国立博物館所蔵 Image TNM Image Archives



狩野常信筆「草花魚貝虫類写生図」(部分)
東京国立博物館所蔵 Image TNM Image Archives



嶋谷市左衛門肖像画 高橋天山 画
東近江市西堀築三郎記念探検の殿堂所蔵

関連イベント

記念講演会 「唐船造之御船」と嶋谷

日時 | 令和7年9月13日(土) 14:00~16:00

会場 | 長崎歴史文化博物館 1階[ホール]

演題 | 「唐船造之御船」と嶋谷

講師 | 松尾 晋一 氏

(長崎県立大学地域創造学部教授)

入場無料 | 要事前申込

(会場120名、オンライン30名 先着順)

申込方法 | 電話(あじさいコール: ☎095-822-8888)

※電話申込は会場参加の方のみ

Webフォームより電子申請▶



長崎市長崎学研究所開所10周年記念事業 記念シンポジウム

「長崎の魅力語る歴史資料の力
—長崎学研究のこれまでとこれから—」

日時 | 令和7年10月19日(日) 14:00~17:00

会場 | 長崎歴史文化博物館 1階[ホール]

記念企画展「長崎学のあゆみ」

〈パネル展示〉

会期 | 令和8年1月14日(水)~2月15日(日)

会場 | 長崎歴史文化博物館 1階[エントランス]

〈資料展示〉

会期 | 令和7年12月18日(木)~令和8年2月15日(日)

会場 | 長崎歴史文化博物館 2階[特集展示室]

記念誌の刊行 令和8年3月刊予定

紀要『長崎学』第10号を長崎市長崎学研究所開所10周年記念特別号として刊行します。

嶋谷市左衛門関係資料展示

(長崎歴史文化博物館収蔵)

期間 | 令和7年8月19日(火)~10月19日(日)

場所 | 長崎歴史文化博物館 2階[常設展示室]

◎お問い合わせ(平日 8:45~17:30)

長崎市 文化観光部 長崎学研究所

〒850-0007 長崎市立山1-1-1(長崎歴史文化博物館内)

TEL 095-818-8388 FAX 095-818-8377

長崎市長崎学研究所開所10周年記念事業ウェブサイト



◎小笠原の詳細情報はこちらから

心、動く島。

小笠原

世界に誇る感動がある

《小笠原観光局ウェブサイト》



〒850-0007 長崎市立山1-1-1

[TEL] 095-818-8366 [FAX] 095-818-8407

[ウェブサイト] <https://www.nmhc.jp/>



- ◎路面電車 | 桜町電停より徒歩5分・市役所電停より徒歩7分
- ◎路線バス | 「歴史文化博物館」下車、徒歩3分
- ◎JR | JR長崎駅より徒歩14分
- ◎車 | 長崎自動車道「長崎芒塚IC」より諏訪神社方面へ10分
- ◎駐車場(有料) | 一般車両:62台、大型観光バス:5台

